

「5 人衆」勝利で近畿から新しい政治を

京都 比例 5 候補が初の勢揃い宣伝

うだるような暑さの 30 日午後、京都市四条大宮交差点で近畿ブロック比例 5 候補が初めて勢揃いで訴えました。聴衆から「一人一人がええなー」「暑いけど訴えも熱い」の聲が上がりました。

■わたなべ結さん（大阪 3 区重複）
仙台市長選は本気の共闘を組めば勝利できることを示した。安倍政権の「働き方改革」を食い止め、人間らしく働けるルールを

■堀内照文衆院議員（兵庫 8 区重複）「お友達」には何十億円もの便宜。その一方、介護の大改悪、消費税増税。誰のための政治か。企業・団体献金を受け取らない党でこそただすことができる。この議席を大きく

■清水ただし衆院議員（大阪 4 区重複）「アベ政治を許さない」となぜ片仮名で書くか。安倍さんが「感じ悪い」から。人の不幸をつくるカジノ解禁は許せない。カジノより保育所を、「リニア」よりシニアを

■宮本たけし衆院議員（比例単独）森友問題を最初に国会で取り上げ以後、連続 14 回追及した。「森友・加計」一国民に政権への不信感と怒りが広がっている。解散して信を問え

■こくた恵二党国対委員長（京都 1 区重複）東京都議選、仙台市長選、自民党政治の行き詰まりは深刻だ。野党共闘にこそ未来がある。カナメとなる日本共産党の躍進へ近畿比例 5 人がそろって勝利し、近畿から政治を変えよう



こくた国対委員長 20 年祝う 「議会制民主主義の発展をめざし、こくた恵二君の国会対策委員長の 20 年を祝うつどい」が 30 日開かれ、自民党から共産党まで与野党の政治家や京都の各界各層の代表ら 300 人が参加しました。発起人は河野洋平元衆院議長、大島理森衆院議長、川端達夫衆院副議長、ジャーナリストの田原総一郎の 4 氏。日本共産党からは小池晃書記局長、市田忠義副委員長をはじめ多数の国会議員、地方議員が参加しました。

奮闘 要求 実現へ

最賃の大幅引き上げを要求 党大阪府議団、たつみ、堀内、わたなべ氏

党大阪府議団は 26 日、府労働部、大阪労働局へ「大幅引き上げ等を求める要望」を行い、たつみこたろ一参院議員、堀内照文衆院議員、わたなべ結比例候補（大阪 3 区重複）が同席しました。要望書では当面時給 1000 円とし 1500 円を目指すこと、あわせて「賃金引き上げのための中小企業への支援を強化する」ことを求めています。堀内氏は、大阪市が時給 950 円で介護従事者を募集しても集まらない現状を紹介し、最低賃金の引き上げを求めました。



教職員に展望語る 宮本衆院議員 宮本岳志衆院議員は 29 日、京都市内で開かれた「日本社会と子供の未来を語るつどい」に参加し、森友・加計学園問題での国会論戦、東京都議選結果、改憲問題などを報告。今後の展望についての質問に対して宮本氏は、「都議選は『都民ファーストの風』が吹く難しい選挙だったが、共産党は血の出るような努力で躍進することができた。一つひとつの選挙を確実に勝つことで安倍自公政権を引きずり下ろすことはできる」と話しました。

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 23(2017. 7. 31)